

# 横須賀市の児童生徒の読書実態調査（報告書）

平成30年(2018年) 3月

横須賀市教育委員会



## 1. 調査概要

### (1) 調査目的

本市における子どもの読書の実態を調査し、第2次横須賀市子ども読書活動推進計画の進捗状況を把握する。

### (2) 調査対象

横須賀市立小学校（4～6年生）・中学校（1～3年生）の抽出1クラスの児童生徒に対してアンケートを実施した。

区分	全対象数		抽出数			
	学校数	児童生徒数	学校数	配布数	回答数	回収率
小学校	46校	9,526人	46校	4,040人	3,960人	98.0%
中学校	23校	9,922人	23校	2,309人	2,147人	93.0%
合計		19,448人		6,349人	6,107人	96.2%

※平成25年度までは抽出校調査、平成26年度から全校調査

### (3) 実施方法

各学校に調査票を送付して依頼し、各学校単位で実施し、回収した。

### (4) 実施期間

平成29年12月1日(金)～22日(金)

### (5) 調査基準

平成29年11月の1カ月間

## 2. 調査結果の概要

【問1】11月の1カ月の間に、本を何冊ぐらい読んだか。

- ・小学校の児童の平均読書冊数は、7.5（7.5）冊で、中学校の生徒の冊数は2.8（3.9）冊である。読んだ本の冊数は、小学校の児童は前回と同数であり、中学校の生徒の冊数は前回よりも1.1冊減っている。
- ・本を1冊も読まなかった小学校の児童は10.6%（11.1%）、中学校の生徒は42.8%（41.9%）で、小学校の児童は前回よりも0.5%減り、中学校の生徒は前回よりも0.9%増えている。

### 読書冊数の全国との比較

区 分		今回調査値（29年度）			前回調査値（28年度）			基準値（23年度）		
		本	雑誌	マンガ	本	雑誌	マンガ	本	雑誌	マンガ
小学生	横須賀	7.5冊	1.4冊	6.7冊	7.5冊	1.5冊	8.5冊	4.9冊	1.9冊	7.4冊
	全国	11.1冊	3.7冊		11.4冊	3.7冊		9.9冊	4.9冊	
中学生	横須賀	2.8冊	1.2冊	7.1冊	3.9冊	1.7冊	9.8冊	2.9冊	2.3冊	10.9冊
	全国	4.5冊	1.7冊		4.2冊	1.7冊		3.7冊	3.3冊	

### 月間読書冊数別の割合

区分	合計	0冊	1～4冊	5冊以上	無回答	平均読書冊数
小学生	100.0%	10.6%	42.1%	47.3%	0.0%	7.5冊
	(100.0%)	(11.1%)	(44.2%)	(44.7%)	(0.0%)	(7.5冊)
中学生	100.0%	42.8%	43.3%	13.9%	0.0%	2.8冊
	(100.0%)	(41.9%)	(41.7%)	(16.4%)	(0.0%)	(3.9冊)

※（ ）内数字は、前回の調査の数値

### 1カ月の間に読んだ本の冊数が0冊だった児童生徒の割合

区 分		今回調査値 (29年度)	前回調査値 (28年度)	基準値 (23年度)
小学生	横須賀	10.6%	11.1%	17.1%
	全国	5.6%	4.0%	6.2%
中学生	横須賀	42.8%	41.9%	35.9%
	全国	15.0%	15.4%	16.2%

※全国数値は、全国学校図書館協議会と毎日新聞社が合同で行っている平成29年6月調査の数値。本市の調査時期と異なるが、参考として全国数値としている。

【問2】【問1】で本を1冊も読まなかった理由(複数回答可)

- ・小学生、中学生ともに「本を読む時間がない」を一番に挙げている。

	どんな本を読んで いいかわからない	本は面白く ない	本を読む 時間がない	字が難しい	その他	無回答
小学生	14.0%	24.2%	28.5%	8.3%	21.6%	11.9%
中学生	14.1%	21.7%	38.9%	6.4%	23.7%	17.2%

※複数回答のため、割合の合計は100%にならない

【問3】本を読むのが好きか。

- ・「好き」「どちらかといえば好き」の割合は、小学校の児童79.4% (80.3%)、中学校の生徒69.5% (68.8%) である。

区分	好き	どちらかといえば 好き	どちらかといえば きらい	きらい	無回答
小学生	42.1%	37.3%	14.7%	5.6%	0.3%
	(43.1%)	(37.2%)	(14.2%)	(5.4%)	(0.1%)
中学生	32.7%	36.8%	20.8%	9.3%	0.4%
	(35.3%)	(33.5%)	(18.1%)	(12.8%)	(0.3%)

※( )内数字は、前回の調査の割合

## 【問1】と【問3】に対するクロス集計

- ・小学生については、本を読むのが「好き」な児童の平均読書冊数以外は増加している。
- ・中学生については、本を読むことが「好き」「きれい」に関係なく平均読書冊数が減少している。

### 小学生

本を読むのが好きですか	合計	0 冊	1～4 冊	5 冊以上	無回答	平均読書冊数
好き	100.0% (100.0%)	3.0% (2.9%)	28.6% (29.8%)	68.4% (67.3%)	0.0% (0.0%)	11.7 冊 (12.1 冊)
どちらかといえば好き	100.0% (100.0%)	7.9% (9.7%)	52.7% (55.7%)	39.4% (34.6%)	0.0% (0.0%)	5.5 冊 (5.0 冊)
どちらかといえばきれい	100.0% (100.0%)	22.5% (24.5%)	56.6% (59.3%)	20.7% (16.2%)	0.2% (0.0%)	2.8 冊 (2.7 冊)
きれい	100.0% (100.0%)	53.4% (52.1%)	33.6% (39.5%)	13.0% (8.4%)	0.0% (0.0%)	1.7 冊 (1.4 冊)

※（ ）内数字は、前回の調査の割合

### 中学生

本を読むのが好きですか	合計	0 冊	1～4 冊	5 冊以上	無回答	平均読書冊数
好き	100.0% (100.0%)	17.5% (16.3%)	47.7% (49.2%)	34.8% (34.5%)	0.0% (0.0%)	6.5 冊 (7.9 冊)
どちらかといえば好き	100.0% (100.0%)	39.1% (39.8%)	54.7% (49.6%)	6.1% (10.6%)	0.1% (0.0%)	1.5 冊 (2.4 冊)
どちらかといえばきれい	100.0% (100.0%)	69.7% (63.7%)	29.2% (33.5%)	0.9% (2.8%)	0.2% (0.0%)	0.4 冊 (0.8 冊)
きれい	100.0% (100.0%)	84.5% (87.2%)	14.0% (11.7%)	1.5% (1.1%)	0.0% (0.0%)	0.6 冊 (1.5 冊)

※（ ）内数字は、前回の調査の割合

【問4】授業以外で学校図書館を利用したことがあるか。

- ・「よく利用する」、「ときどき利用する」の割合は、小学校の児童56.4%（51.9%）、中学校の生徒22.7%（20.6%）である。小学生は「よく利用する」割合が前回調査より大幅に増加している。

区分	よく利用する	ときどき利用する	あまり利用しない	利用したことがない	無回答
小学生	18.4%	38.0%	36.6%	6.2%	0.8%
	(3.5%)	(48.4%)	(41.1%)	(6.4%)	(0.6%)
中学生	4.6%	18.1%	40.1%	35.8%	1.4%
	(1.8%)	(18.8%)	(42.0%)	(37.3%)	(0.1%)

※（ ）内数字は、前回の調査の割合

【問5】【問4】であまり利用しない、利用したことがないと回答した児童生徒に対して質問している。  
学校図書館を利用しないのはなぜか。（複数回答可）

- ・小学生、中学生とも利用しない一番の理由として「行く時間がないから」を挙げており、続いて「本は買う事が多いから」と「本に興味がないから」が続いている。

学校	行く時間がないから	本に興味がないから	使いたいときに図書館がしまっているから	本は買う事が多いから	その他	無回答
小学生	35.2%	27.0%	2.1%	33.0%	26.3%	4.7%
中学生	41.1%	30.1%	2.6%	36.4%	23.8%	3.0%

※複数回答のため、割合の合計は100%にならない

#### 4. 第2次横須賀市子ども読書活動推進計画の目標値との比較

指 標		基準値 (23年度)	前回は (28年度)	今回調査値 (29年度)	目標 (29年度)	
1	1カ月間の 平均読書冊数	小学生	4.9冊	7.5冊	7.5冊	6.4冊
		中学生	2.9冊	3.9冊	2.8冊	3.8冊
2	1カ月間に本を 1冊も読まない 児童生徒の割合	小学生	17.1%	11.1%	10.6%	12.4%
		中学生	35.9%	41.8%	42.8%	28.8%

#### 5. 調査結果の分析

- (1) 市立小中学校全 69 校を調査した。前年度比較においては大きな改善が見られないが、小学生は第2次子ども読書推進計画の目標値を達成した。  
中学生については目標値には届かず、「1カ月間に本を1冊も読まない生徒の割合」では基準値よりもさらに悪化している。
- (2) 小学生、中学生とも「本を1冊も読まなかった理由」では「本を読む時間がない」が一番多い。「授業以外で学校図書館を利用しない理由」では「行く時間がないから」が一番多く、小中学生の忙しさがうかがえる。
- (3) 小学生については平均読書冊数が増加し、「1カ月間に本を1冊も読まない児童の割合」の改善が見られる。中学生については基準年度よりもさらに状況が悪化しており、学校・生徒の現状を踏まえた取り組みを検討する必要がある。







横須賀市の児童生徒の読書実態調査(報告書)

平成 30 年(2018 年)3月発行

横須賀市立中央図書館  
〒238-0017 横須賀市上町1-61  
電話 046-822-2202